

ごみ減量化・分別の成果はこんなところに！

最終処分場が大幅に延命化

建設当初

令和5年

12年間使用予定 → 32年間使用中

(平成3年～平成15年)

(埋立率 53.66%)

最終処分場は、平成3年の建設当初の計画では平成15年までの約12年間利用する予定でした。

しかし、ごみの減量化・分別の取り組みにより不燃物の埋立量が減少し、最終処分場を大幅に延命化することができています。

新しい最終処分場を建設するには多大な費用がかかります。また、環境への配慮や新たに設置す



不燃物を埋め立てる最終処分場の様子

る場所の地域住民の理解が必要となるなど、さまざまな条件をクリアしなければなりません。

今後も私たちがごみの減量化・分別に積極的に取り組むことで、さらに最終処分場を延命化することができます。

分別されたごみの行方



ごみ出しや分別で困ったら…

資源・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」、市公式 LINE を活用ください！

資源・ごみ分別アプリ

分別方法を手軽に検索したり、資源やごみの収集日をお知らせする便利なアプリです。



App Store
からダウンロード
iPhone:iOS



GET IT ON
Google Play
Android

市公式 LINE

基本メニューの「ごみ・リサイクル」から「ごみ収集日定期配信設定」を選択。お住まいの地区を設定することで、収集日の前日・当日にお知らせします。

トーク画面で、ごみの分別検索もできます。



【特集】みんなでさらにもう一歩

未来につなぐリサイクル

市では、市民の皆さんに7種25品目のごみの分別をお願いしています。今回の特集では、分別の取り組みがどのような成果につながっているかをご紹介します。6月は環境月間です。この機会にもう一度リサイクルについて考えてみませんか。

●問＝生活環境課 Tel 23 - 8122

数字で見る小林のリサイクル

市民一人当たりのごみの排出量

平成12年度 766グラム / 1人・日
令和4年度 399グラム / 1人・日

ほぼ半分

小林市の家庭ごみのリサイクル率

平成16年度 19.9パーセント
令和4年度 57.4パーセント

約3倍

ごみ分別の取り組みで高いリサイクル率を維持
小林市が全国でもトップクラスの家庭ごみのリサイクル率を誇っていることを知っていますか？
小林市の家庭ごみの排出量は、ごみの減量化・リサイクルの推進により、ピークであった平成12年度と比較して、令和4年度はほぼ半分となっています。
家庭ごみのリサイクル率は、市民の皆さんの分別の取り組みにより、平成16年のリサイクル率19・9割に対して、令和4年度は57・4割と、非常に高い水準ま

で上昇しました。
引き続き減量化・分別へのご協力をお願いします
ごみの減量化と分別を推進するで、二酸化炭素の発生につながるごみの焼却量を減らすことができます。
また、燃やさないごみを減らすことは、最終処分場の埋立量を減らす（＝延命化する）ことにつながり、私たちや将来の世代への負担を減らすことにもつながります。
引き続きごみの減量化・分別へのご協力をお願いします



南真方西区
リサイクル品分別指導員
真方 國男 さん

綺麗な地球を
将来の子どもたちへ
リサイクル品分別指導員を務めて今年で20年目になりました。
最近、近所の人と顔を合わせる機会も減ってきましたが、月1回のリサイクル収集は、地域住民同士のコミュニケーションの場にもなっています。
そのまま捨ててしまえばただのごみですが、分別することで資源として再利用することができます。
小さなことの積み重ねですが、将来の子どもたちに綺麗な地球を残すためにリサイクルに取り組むことが、私たちの重要な役割の一つだと思います。